

学校再編整備計画素案に係るパブリックコメントの実施結果の公表について

○パブリックコメント募集期間 … 令和4年6月1日～6月30日

○パブリックコメント受理件数 … 66件

坂出市学校再編整備素案についてのパブリックコメント(ご意見)を募集しましたところ、延べ66件のご意見をいただきました。本当にありがとうございました。
皆様から寄せられました意見を集約し次のとおり公表します。

なお、ご意見の内容のうち共通した内容と考えられるものについては、件数をお示ししています。

分類	ご意見の内容(要旨)	件数
通学等	子どもたちの通学が不便にならないように、安全に通学ができるようにしてほしい。	3
	学校の統合により、通学距離の問題が考えられる。交通安全や不審者対応等の防犯面において、どのような対策ができるのか検討が必要である。	2
教育委員会の考え方		
<p>児童生徒の通学距離について、国は、小学校にあっては4km以内、中学校にあっては6km以内が適当であるとしていますが、スクールバスの運行等により児童生徒の通学が可能であれば、その限りではないとされており、県内他市でもスクールバス等の導入により、通学手段の確保がされています。再編整備の際には、交通事情や地域の実情を十分に考慮し、通学手段等についても検討してまいります。</p> <p>次に、登下校時の不審者や交通安全対策については、見守り活動等保護者や地域の方がたのご協力をいただいておりますが、今後ともご協力、ご支援をいただく中で、警察等関係機関や市少年育成センターなどの市関係部署と連携強化を図りながら鋭意、安全対策に取り組んでまいります。</p>		

分類	ご意見の内容(要旨)	件数
学校施設等	校舎の老朽化が目立っている。時代に沿った学校設備が必要で、少子化も含めて学校再編は必要だと感じる。 バリアフリー化、耐震化等で校舎の安全性を高め、ICT環境の整備等により新しい学びにも対応できる設備を整えることで、子どもたちが安心して学べる環境の確保を希望する。	3
	小中一貫校にし、新しく校舎を建て替えてほしい。	2
	学校再編については反対だが、どうしてもなら、東部小学校と金山小学校、東部中学校と坂出中学校の統合には賛成です。 しかし本音としては、どちらの学校も残してほしい。	1
	プールの老朽化について懸念がある。 学校プールの維持には膨大なコストがかかると言われており、今後全国的には縮小の方向が見られるが、きれいで安全なプールでの水泳授業が必要。	1

教育委員会の考え方

学校施設についてはその多くが老朽化しており、緊急度を勘案する中で、早期に改修・修繕する等、学校の環境整備の充実に努めてまいりました。しかしながら、令和3年3月に策定した「坂出市学校施設長寿命化計画」において、現状の市立幼・小・中学校を維持すると今後40年間で約500億円の費用が必要との積算がなされており、建替えを含めた対応には巨額な費用が必要となります。

また、学校プールにつきましては、すべての小中学校プール内の防水シート加工は終了しておりますが、今後は機器類の維持管理や躯体自体の更新が必要になってきます。

なお、体育館につきましては基本的な考え方として、再編整備後も引き続き災害時における地域の避難所として、位置づけられると考えます。

分類	ご意見の内容(要旨)	件数
教育・教員	小中一貫校が良いと思う。9年間の一貫したカリキュラムのため、無駄なく学べ、小学校では教科担任制が推進されている中、専門教科の中学校教員が教えに行くなど小中連携が密に行うことができ、中1ギャップの解消や小中の教育課程の連結が円滑に行える。県内での事例もある。	2
	小学校は地域文化を支えている一つとなっているので、様々な理由で再編も避けられたいと思われるが、地域の文化や、学校の伝統等を大切にしながら進めてほしい。	6
	生徒数だけで、小学校を再編する案には反対。	1
	2つの再編整備案のうち、学校種毎の再編整備案の方が良いと考える。生徒数の減少に伴い、教員も減少しているが、その反面で全体の仕事量や質については変わらず、負担が大きくなっている。中学校では、部活動でも人数不足の問題があるが、要望もあり、部活動の数を減らせていない現状があり、教員の負担や生徒活動の面から再編は避けられない。	1

教育委員会の考え方

教育現場の環境が多様化・複雑化する中で、本市においては、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組みである、「コミュニティ・スクール」を全小中学校で導入し、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを行っています。この取り組みは小学校区だけでなく中学校区でも行われており、様々な形で地域の皆様のご協力をいただいています。教育委員会といたしましては、仮に再編整備が行われたとしても、小学校区の活動は継続し、より大きな枠組みである中学校区の取組みへ広げていくことが可能となると考えています。

また、再編整備の際には校区についても検討し、前項の通学手段も含めて地域の状況に応じて対応していきたいと考えます。

なお、小中一貫校のメリットとしては、小学校高学年に対して中学校の専科教諭による授業を行うことにより、専門的な教育及び小学校教諭の負担軽減が図られることや、小学校時代からの成長を見守ってきた教師がいることで、中学生になって何らかのトラブルがあった場合の対処が可能となる事等が報告されています。

分類	ご意見の内容(要旨)	件数
学校・クラスの規模	東部小学校と金山小学校の再編整備は組み合わせは立地的に距離が近く、組み合わせしやすと思う。児童が安心して通学ができる仕組みを作り、よりよい環境で学習が臨むことができるようにしてほしい。	1
	小中一貫校に賛成です。9年間で無駄なくカリキュラムを組めるので良いと思います。	1
	少子化に伴い児童数が減少し、現在の学校としての機能を果たすには、学校再編が必要。小学校を再編することで、一人ひとりの充実した学びと集団の中で学び合うことで得られる学びを生む学校に出来ると思う。 ただし、校区が広がるので、登下校の方法や地域学習の在り方等、しっかり話し合いと、手立てを講じた上で、進めてほしい。	3
	白峰中学校と白峰校区の小学校を小中一貫校にして、現在の白峰中学校に白峰小中学校を新築してほしい	1
教育委員会の考え方		
<p>本市では、小・中学校の望ましい学校規模を12学級以上18学級以下としており、11学級以下の小規模な小・中学校を再編の対象としています。一般的に、小規模校では、学校での学習や運動などにおいて、一人ひとりの個性や特性に応じたきめ細やかな教育が実現できるなどのメリットがある一方で、大きい集団生活の中で互いに切磋琢磨したり、一定規模の集団生活における規律や規範意識を学んだりする機会が少ないことにより、進学先の学校や社会などの大きな集団において、個性や長所を十分に発揮できにくくなる傾向があるなどのデメリットが指摘されています。昨年実施した教師・保護者・生徒へのアンケートにおいても、クラス替えができる1学年3学級程度が望ましいとの意見が多く見られました。また、複数学級であれば、1つの学級で一斉に授業を行うだけでなく、教科によってはグループ別授業や習熟度別授業など、多様な授業形態をとることにより、より効果的な指導ができるものと考えています。</p>		

分類	ご意見の内容(要旨)	件数
地域等	<p>中学校に進学時に、進学先を柔軟に選択できると良い。 小学校の入学時期になると児童が少なくなっていることを理由に、引っ越しをする家庭が多いと聞く。このような事情からも、さらなる減少が見込まれることから、早めの対策をお願いしたい。</p>	1
	<p>結論（再編）ありきで議論を進めてほしくない。拙速な議事進行ではなく、地域住民との対話や説明を行った上で、議論を深めてほしい。行政というより、財政面に重点が置かれているように感じる。</p>	2
	<p>確かに再編整備計画素案の通り再編された場合、教育設備環境等の整備はされるが、小学校は中学校とはちがい、地域と綿密なつながりがあるためその小学校だと思ってしまうので反対。 この再編だとどうしても通学距離が4kmを超える地区ができると思われませんが、綾上小学校のようにスクールバスで対応するのか？</p>	1
	<p>学校の再編についてはやむを得ないと思う。ただ、小・中一貫や義務教育学校ではなく、学校種ごとの再編が適当と思う。 理由は、地域の人々が地元を大切にする思いや活動する意欲をできる限り損なってほしくないからで、小・中学校が1つにまとまると、学校がある地域とそうでない地域では、活力や地元愛などに格差が生まれると思う。また、小学校がなくなる地域には、「交流の里おうごし」のような地域が集える場を設け、これまで長年培ってきた地域の特色や地域への誇りをもち続けていけるように、できる限り配慮すべきと思う。</p>	1
<p>教育委員会の考え方</p>		
<p>今回の「坂出市学校再編整備検討委員会」では、平成20年度に策定された「学校再編整備実施計画」と令和2年度に策定された「坂出市学校施設長寿命化計画」を基に、児童生徒数の推移や出生数といった人口動態と予測を踏まえ、以前の再編整備計画策定時には無かった小中一貫・義務教育学校の取組みを参考に、教師・保護者・生徒に対するアンケートを実施し、議論を重ねております。再編整備の組合せについては、前回の「坂出市学校再編整備実施計画」を基本としており、最近の出生率や今後の人口予測、アンケートの結果を勘案し、児童生徒への教育効果を第一に考えて、最適規模の学習集団を編制し、学校が学校として最大限の機能を発揮でき、持続可能な学校規模を想定したものです。 実際に再編整備が行われるまでには、再編整備後の跡地利用も含め、校区や通学手段等さまざまな課題があり、それぞれの課題を解決しながら個別の計画を策定していく必要があると考えます。</p>		

分類	ご意見の内容(要旨)	件数
市政全般・その他	<p>地元で愛された学校が再編してしまうことは寂しさを感じるが、子どもたちが良いよい環境で学ぶために、時代に応じて変化することは必要なことだと思う。学校再編に伴って、将来的に多くの方の暮らしが豊かになるように考え、若い方が、こんな学校だったら通わせたい、子育てを坂出でしたいと感じる学校再編になってほしい。</p>	5
	<p>今後の子どもの人口予測、各小中学校の児童・生徒数の予測等から考えると学校再編は避けられないと考える。中学校では部活動に大きく影響がすでに出ている。 小中一貫の学校に再編していく方がよいと考える。特に、中学校の校舎や施設は老朽化が進み、今以上には修繕は難しい。建て直した方が今後の教育活動を考えてもよいのではないかと考える。また、同じ敷地や近隣に小中学校がある環境は、異学年交流が活性化し、特に、中学校にとってのメリットが大きいと思われる。ただ、その町から小学校がなくなることのダメージは大きいので、現存の小学校が再編になった時、地域住民の理解が必要である。</p>	3
	<p>再編成するにあたって坂出市から府中を外し、府中、王越地区を高松市と合併するのはどうか？ 府中から林田町に通学するのも国分寺町に通学するのも同じだ。ならば坂出にこだわる必要は無い。小学校を再編するのは過疎化を進めるだけではないのか。</p>	2
	<p>学校再編整備という重要な問題は、学校教育の在り方や、地域社会との関係を抜きにして論じられる問題ではない。 学校が無くなると、地域との関連について「地域と学校が連携・協働することで、新しい人と人とのつながりも生まれ、地域の教育力の向上につながる」これを支えてきた学校ボランティア活動関連の蓄積と発展も消失してしまう。再編で代替できるものでなく、双方の喪失は大きく、回復は望めない。</p>	3
	<p>子どもの減少で、学校が再編されることは仕方ないことだと思う。廃校となった時に、子どもや地域は寂しい思いをするのは、間違いないので、様々な面で伝統を残したり、ケアをしていく必要がある。</p>	1
	<p>子どもの減少もあるが、「子どもを通わせたい」と思える学校環境づくりが大切だと思う。(高松第一のような小中一貫校も可能なのか。) 校舎の建て替えについては、災害時の子どもの受け渡し等で、兄弟の学校が分散していると大変であるため、可能であれば、小中一貫校のように、隣接してほしい。</p>	1
	<p>耐震性の低い古い校舎の学校は、新しく建て替えるか・新しい学校への再編が良いと思う。その場合、学校から遠い子どもたちへはスクールバスを利用する方がよい。自主通学が難しい子どもの場合、事前許可制にして、送迎用の駐車場が必要。また、通学については、徒歩のみではなく、スクールバスや保護者の送迎等、ある程度自由に家庭で選択できるようにしてほしい。 学校は1箇所や2箇所とか集中しても良いと思うので、教員の負担を減らすため、その分教員も多く配置してほしい。 中学校でも学校給食の無償化を実現してほしい。</p>	1
	<p>将来にわたり本市での少子化傾向が続き教育環境としての適正人数規模が維持できないこと、学校規模の格差の是正、校舎等の学校環境の良し悪しの是正、校舎維持管理に係る費用の増大などから、再編はやむなしであると考えます。長期的にみれば、再編によって将来にわたり縮減されるであろう教育予算を活用して、さらにこれからの新しい教育に積極的に投資できる方がよいと考えます。坂出市における教育新時代の構築に向けて、再編を通じて得られた新校舎での教育、多様な豊かな人間関係の中での教育と、夢は広がります。 小中一貫がよいか、学校種毎の再編がよいかは、他市町の統合等の状況をよく分析し、それぞれのメリット・デメリットを考え、今後とも費用対効果の観点から検討を進めていくことがよいのではないかと考えます。</p>	1

<p>本年度および平成20年度の「坂出市学校再編整備計画素案」とも基本方針は共通しており、市民として、児童を持つ親としてこの計画案に賛同する。特に、市内3中学校を基とする小学校統合は将来的にも児童数の確保が認められ、また、従来の校区割からの変更も少なく、抵抗なく行えると考ええる。</p> <p>あとは、議して決さずにならないよう検討委員会で議論を進めて、具体的な再編を行っていただきたい。</p>	1
<p>再編になることは仕方のないことだと思う。どの組み合わせで再編になったとしても、子どもたちの母校がなくなるという気持ちに寄り添ってほしいと思う。</p>	1
<p>再編校を府中町に建設するなら賛成します。</p> <p>府中には、JR駅が二つ有り活用する価値があると思う。林田に作るのであれば東部中学校も範囲内です。東部校区も同じ中学校にまとめた編成も考えられる。</p> <p>あるいは府中町を高松市に編入するのはどうか？林田町に通学するのも国分寺町に通学するのもあまり変わらない。JRを使う通学も可能。南海地震に備えて海岸から遠ざける事も考えなければならない。</p>	1
<p>学校が長く存在することは、地域の活性化に繋がると思うので、小中が連続する再編が良いと考える。ただ、部活動での人員確保、9年間同じ人間関係を続けていかなければならない点等の課題をクリアしていかないと、私立中学へ生徒が流れていくことが心配される。</p> <p>また、小中が一緒になることで、先生方の仕事量に差が生じると、教員間の関係が上手くいかなくなる可能性がある。</p>	1
<p>教育委員会の考え方</p>	
<p>坂出市では将来に過大な負担を残さないために、行財政改革を進めながら長期的な視点で市民福祉の向上と市勢発展を目指しています。そのために、現在、様々な少子化対策や企業誘致の推進など総合的な見地から、安全・安心なまちづくりや市民の皆様が住みやすいまちづくりに取り組んでいるところです。教育委員会といたしましても、家庭や地域との連携・協力のもとで、教育効果を第一に考えた最適規模の学習集団を編制し、学校が学校として最大限の機能を発揮できる教育環境を整え、さらなる学校教育の充実・強化に努めてまいりたいと考えています。</p>	